

# あなたの疑問におこたえします

日本共産党

綱領と規約の話 リーフレットから

## 日本と中国

緊張と対立を  
どうしたら?



「対話すすめるべき」75% (「日経」6月26日付)

「中国の脅威」を煽ったり、「軍拡には軍拡」で応じたら、緊張はエスカレートするばかり……。いまこそ平和をつくる外交が必要です。日本共産党は3月、「日中関係を前向きに打開する提言」を発表し、日本政府と中国政府に直接申し入れました。

### 「互いに脅威とならない」の合意

志位委員長は、日中両国がお互いに確認しあっている合意を土台に、関係を改善させ、平和と友好の関係を築くべきだと提案。岸田首相も中国大使も、肯定的に応じました。「互いに脅威とならない」の合意を守り、具体化すべきです。



「脅威とならない」も維持 (岸田首相) = 3月30日

「中国の立場と通」 (中国大使) = 5月4日

### 「力による現状変更」「人権侵害」はきびしく批判

尖閣諸島、ウイグルや香港……。日本共産党は、中国の覇権主義と人権侵害を引き続ききびしく批判します。

## 党首

直接選挙じゃないと  
非民主的?



私たちは、いまの執行部の選び方が、もっとも民主的で合理的だと考えています。

### 党首一人でなく執行部全体を選挙

党大会では、委員長だけでなく執行部の集団を選挙で選びます。集団的で民主的な党運営を保障するためです。選ばれた党首が一人で人事も方針も先決する。だれを党首にするかで派閥にわかれ、党がバラバラに一私たちが“公選制”をとらない理由です。

### 在任期間が長すぎるのは問題?

他の野党に比べれば最長ですが、このキャンペーンが始まったのは、共産党が参加する野党共闘での政権交代が大争点になった21年総選挙から。共産党と野党共闘の前進を阻むための攻撃です。こんな卑劣なバッシングに負けるわけにはいきません。



## 自衛隊

海外の戦争で  
血を流させない



### 若者を「殺し、殺される」戦場に送らない

自衛隊の問題で、いまいちばん大事なことは、なくすかどうか、ではありません。災害復旧などで汗を流す隊員たちを、安保法制を発動し、アメリカの戦争に派兵し、「殺し、殺される」戦場に送りこんでいいのか、にあります。私たちは絶対反対です。

### 国民が「なくても安心」となるまでは存続

共産党は、いまずぐ自衛隊をなくそうなどと考えていません。将来、アジアが平和になり、国民の圧倒的な多数が「軍事力がなくても安心だ」と考えたときに、はじめて憲法9条の理想にむけてふみだそうと提案しています。

### 万が一、「窮迫不正」の侵略をうけたら……

自衛隊もふくめて、あらゆる手段をもちいて命を守ります。国民の生存、基本的人権、国の主権と独立を守るのは、政治の当然の責務だからです。



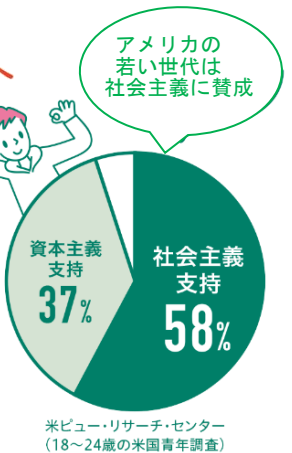
## 共産主義

人間の自由が  
花ひらく未来へ

アメリカの若い世代は  
社会主義に賛成

### 資本主義は“終着駅”じゃない

“もうけ最優先、あとは野となれ山となれ、一格差を拡大し、気候変動をおこす「利潤第一主義」。私たちは、資本主義を“人類の終着駅、などとは考えていません。資本主義をのりこえた社会主義・共産主義にすすむことができます。こう展望しています。



### 人間の自由で全面的な発展

共産主義とは? だれもが「自由な時間」をたっぷりもって自分の能力を「自由に全面的に発展」させることができる。その力で、社会が自然と調和しながらさらに豊かになる——これが私たちのめざす未来社会です。

### 資本主義の価値ある成果をすべて引き継いで

「民主主義と自由」「豊かな個性」を引き継ぎ、さらに発展させます。「思想・信条の自由」「政治活動の自由」は厳格に保障されます。

いま **しんぶん赤旗** から目が離せない

軍備拡大、原発推進、人権侵害の入管法、  
保険証廃止…危ない政治を徹底追及

数々のスクープで政権の「闇」を追及、「おかしい」と声をあげる人々の姿を報じてきた「しんぶん赤旗」。岸田政権のタガが外れた暴走があらわになり、目が離せません。

日曜版 930円  
日刊「赤旗」 3497円  
電子版もあります

申し込みは  
町会議員 **内田たもつ**  
TEL 62-1816

